

「日本・アジア文化と人間」プロジェクト研究報告

2012 Annual Report

'Japan and the Asia culture, and a human being' Research Project

梶山女学園大学文化情報学部教授

飯塚 恵理人

Erito Iizuka

一 プロジェクトの趣旨

哲学・歴史・文化・文学などに関する本学教員の研究蓄積を活かして本学の教育理念「人間になろう」の学問的深化を図るとともに、広く地域社会に成果を発信し、日本やアジアの文化・伝統などについて「人間研究」を基軸に多様なプロジェクト研究を期する。

二 平成 24 年度のプロジェクト・メンバー

飯塚恵理人(リーダー)

梶山女学園大学文化情報学部教授

加藤益幹

梶山女学園大学国際コミュニケーション学部教授

鄭麗芸

梶山女学園大学文化情報学部教授

梅野きみ子

梶山女学園大学名誉教授

二宮俊博

梶山女学園大学文化情報学部教授

季増民

梶山女学園大学文化情報学部教授

樋口謙一郎

梶山女学園大学文化情報学部准教授

富田和子

梶山女学園大学生活科学部助教

三 研究活動

メンバー各自が活動しているが、2013年1月15日時点で飯塚が把握している事項について挙げる。

1) 名古屋国文研究会(本学名誉教授梅野きみ子研究員主催)

名古屋国文研究会のメンバー(名古屋・京都近隣からの女性研究者20名程)が、4月7日(土)、6月2日(土)、7月7日(土)、8月4日(土)、9月1日(金)、9月29日(土)、10月13日(土)、12月1日(土)、1月12日(土)、(2月2日(水)、3月2日(土))は予定)それぞれ午後1時30分~6時まで、交流会館会議室において、『風葉和歌集』の注釈研究のための発表会をした。その成果は、『風葉和歌集研究』16号、同17号として発刊した。昨年暮れ、東京の出版社から会報を書籍に出版してほしいという依頼を受け、それに向けて、これからは研究のスピードを早める予定である。

2) 『源氏物語』の注釈研究会(本学名誉教授梅野きみ子研究員主催)

2012年10月、風間書房から、共著『源氏物語 注釈九』を刊行した。梅野きみ子・嘉藤久美子・宮田光・山崎和子の4名と数名の協力による。

また、12月27日午前10時~午後3時、次

の『源氏物語 注釈十～十二』刊行に向けての打ち合わせをした。『源氏物語注釈』のシリーズは全十二巻であるので、これからは、終わりの三巻を、同時並行の形で早めに出版を進めて欲しいという出版社からの依頼による。

- 3) 「植民地時代韓国日本人社会における芸能研究」（本学文化情報学部教授飯塚研究員担当）

2012年4月1日～6月29日まで飯塚研究員は「植民地時代韓国日本人社会における芸能研究」の研究課題で韓国江原道春川市の翰林大学校日本学研究所で国外研修を行った。同研究所の所蔵する植民地時代の日本語新聞・雑誌等の資料を収集・整理した。得られた資料は現在整理中だが平成25年度中には論文もしくは資料報告として飯塚がまとめる予定である。